

木曽三川だより

国土交通省中部地方整備局 木曽川下流河川事務所

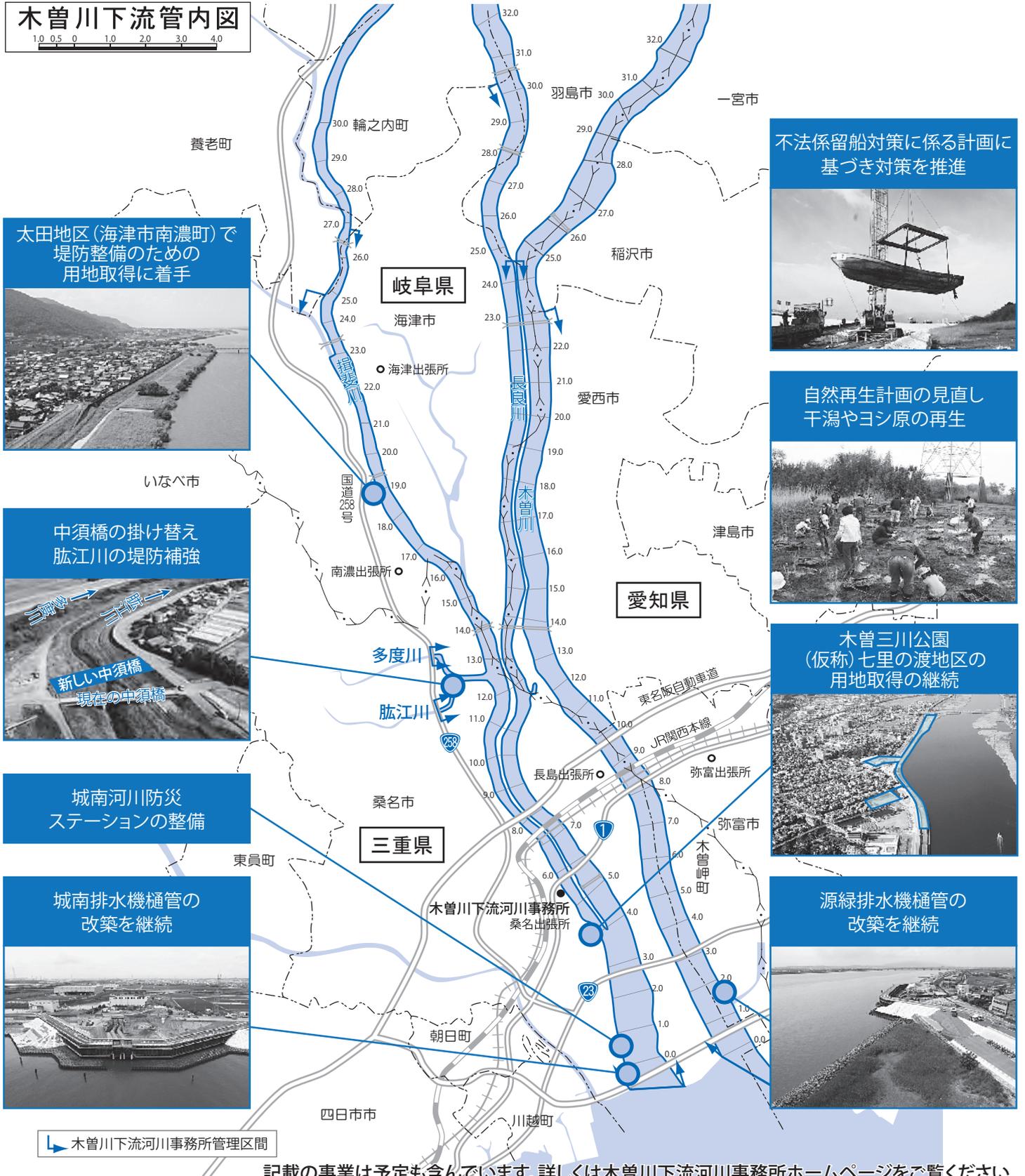
<http://www.cbr.mlit.go.jp/kisokaryu/>

管内 NO.128 2011.7

平成23年度の主な事業を紹介します。

木曽川下流管内図

1.0 0.5 0 1.0 2.0 3.0 4.0



太田地区(海津市南濃町)で堤防整備のための用地取得に着手



不法係留船対策に係る計画に基づき対策を推進



自然再生計画の見直し干潟やヨシ原の再生



中須橋の掛け替え 肱江川の堤防補強



木曽三川公園(仮称)七里の渡地区の用地取得の継続



城南河川防災ステーションの整備



城南排水機樋管の改築を継続



源緑排水機樋管の改築を継続



記載の事業は予定も含んでいます。詳しくは木曽川下流河川事務所ホームページをご覧ください。

いざというときに備えています。

これからの季節、集中豪雨や台風などで大雨が降ることがあります。また最近では「ゲリラ豪雨」や今まであまり見られなかった台風の進路など、異常とも思える気象現象が発生することがあります。

木曾川下流河川事務所では、いざというときのために日頃から堤防や河川の施設の点検、排水ポンプ車などの操作訓練、洪水や地震を想定した職員の訓練などを継続的に行っています。

また、川で遊ぶ機会が増える季節でもあります。利用者の視点で危険な場所の点検も実施しています。川は急に流れの速い場所があったり、深い場所があったりします。突然の大雨による増水も考えられます。

「自然」を相手にしていることを忘れず、安全に楽しく河川を利用しましょう。



排水ポンプ車の操作訓練



護岸の状態の点検



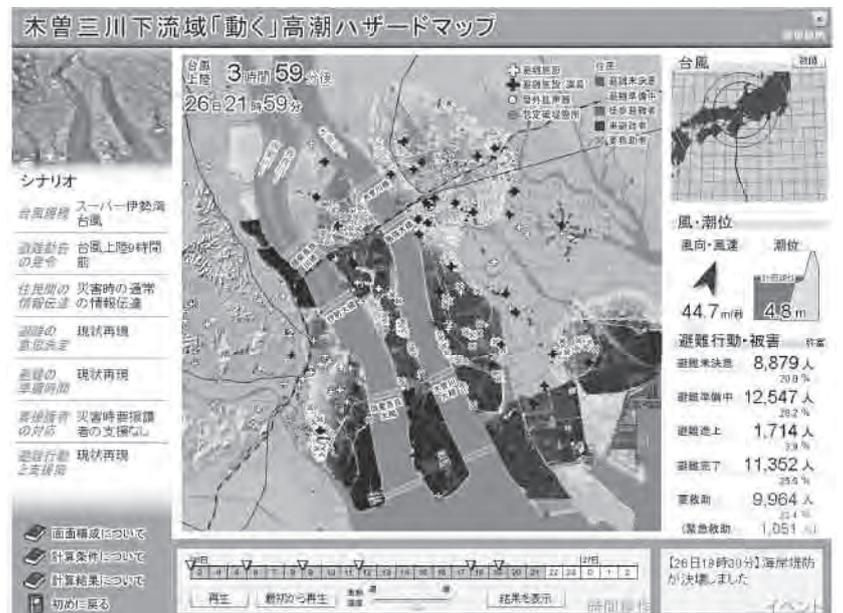
危ないと思われる場所には看板を設置

まずは「知る」ことから始めましょう。

災害への備えにおいて最も重要なことのひとつに、自分の住む地域を「知る」ということがあります。木曾三川下流部は広大な海拔ゼロメートル地帯です。ひとたび堤防が決壊すれば堤防を締め切らない限り水はいつまでも入ってきます。

この地域は過去に伊勢湾台風による高潮で大きな被害を受けました。木曾川下流河川事務所では、再び同じ悲劇を繰り返さないため、伊勢湾台風を超える「スーパー伊勢湾台風」が襲来することを想定しシミュレーションをホームページで公開しています。住民の避難や市町が発令する避難勧告等のタイミングなどを変えることで、犠牲者をゼロにするシナリオを示しています。

自分の住む地域を「知る」ための参考にしてください。



「動く」高潮ハザードマップは木曾川下流河川事務所ホームページからご覧いただけます。トップページ中段のバナーまたはコンテンツの中の「防災と暮らし」からアクセスできます。

「木曾三川だより」問い合わせ先